

水 清 き ふ る さ と

平成18年度活動のまとめ
(2006年度)



岩手県生活問題研究会

2006 年度活動報告

ー加速する温暖化を迎えるー

私たちは、また1年活動の歴史を重ねました。近年、環境の保全に関してメディアもとり上げ、人々の意識も高まりをみせました。しかし、実際私たちのライフスタイルは変化したかを考えると、評価し難いものがあります。

私たちは、身近なところで課題となるものは何かについて年度当初に論議し、内容の継続性も踏まえながら、しかも一般の人たちがライフスタイルの中に取り入れ実践できることを考え設定してきました。

なかなか減らないゴミのアンケート調査、主として家庭雑排水の汚水処理の原因究明と対策、更に家庭にある物を利用しましょうと呼びかけた「ふろしきを使ってみませんか」の展示と実演など、盛岡消費者まつりで提供し、好評でした。また、数年前から出展をお願いしている「盛岡杉生園」の食用廃油利用の製品は多くの人たちの関心を引きました。

私たちは、機会あるごとに研究、研修を積み、特に資源を大切にすることの重要性を学びました。それが次へのステップとなります。2007 年度へのテーマは見えてきました。それはとりもなおさず加速する地球温暖化に挑むことにつながっていくことを確信するものです。

2007 年 4 月

岩手県生活問題研究会

会 長 佐 藤 まゆみ

水環境と洗剤

私たちが暮していくためには水はなくてはならないものです。当会ではこの水環境の保全の一環として、石けんと合成洗剤問題に取り組んできました。食器や衣類洗いには少しでも水への負荷を減らすのは石けんというおもいで石けん使用を推し進めてきました。

石けんと合成洗剤の違いについて検討してみましょう。

石けんと合成洗剤の比較

区 別	石 け ん	合成洗剤
原 料	牛脂、豚脂、ヤシ油などの動・植物油脂	石油
助 剤 (添加剤)	炭酸塩（50％から 30％）メーカーによっては香料、金属封鎖剤を使用（石けん分の低いものに使われる）	硫酸塩、炭酸塩、珪酸塩、ゼオライト、蛍光剤、漂白剤、金属封鎖剤（エデト酸塩）、パラベン、香料など
成 分	純石けん分 99％から 50％	合成界面活性剤 20％から 4％
人体および 環境汚染	・ 石けん分の低いものは炭酸塩の含有量が多いので、手あれの心配がある ・ 金属封鎖剤は発ガン性の指摘があり浄水場でも完全に除去できず、水道水に混入の恐れがある。 ・ 水中の微生物により分解され、炭酸ガスと水になり、環境汚染は少ない	・ 手あれかゆみなどの皮膚障害がある ・ 蛍光剤は発ガン物質として食品包装材料に禁止されている。例えば紙コップ、ガーゼ、包帯など ・ 排出された洗濯液は分解が遅く、河川を汚染し微生物を殺し植物の生長を阻害する ・ ゼオライトは水に溶けず水底に固まりヘドロの原因。また魚の産卵を妨げ、生態系を破壊 ・ パラベンは防腐剤。人により皮膚炎症反応

石けんの表示例

家庭用品品質表示法に基づく表示		
品名	洗濯用石けん	
用途	綿・麻・レーヨン・合成繊維用	
液性	弱アルカリ性	
成分	脂肪酸ナトリウム(純石けん分) (65%)	炭酸塩

合成洗剤の表示例

家庭用品品質表示法に基づく表示		
品名	洗濯用合成洗剤	
用途	綿・麻・レーヨン・合成繊維用	
液性	弱アルカリ性	
成分	界面活性剤(25%) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム アルファオレフィンスルホン酸ナトリウム アルキル硫酸エステルナトリウム りん酸塩無配合 硫酸塩、アルミノけい酸塩、炭酸塩、けい酸塩 蛍光剤配合	

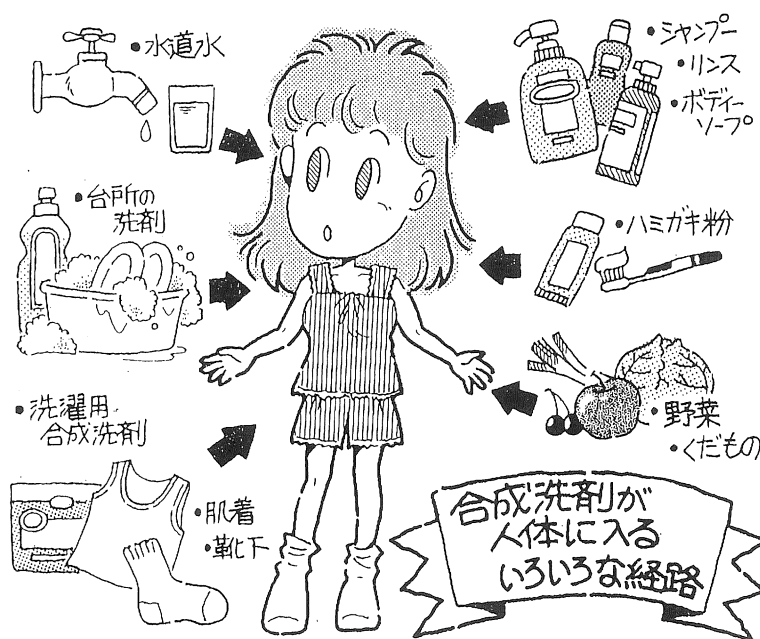
台所用石けんの表示例

家庭用品品質表示法に基づく表示	
品名	台所用石けん
用途	野菜・果物・食器
液性	弱アルカリ性
成分	脂肪酸

台所用合成洗剤の表示例

家庭用品品質表示法に基づく表示	
品名	台所用合成洗剤
用途	野菜・果物・食器
液性	中性
成分	界面活性剤・脂肪酸

あなたは石けんと合成洗剤どちらを使いますか？





紫波町の第3セクターが販売を始めたせっけん「わかしお」

川守る天然油脂せっけん

紫波町は循環型町づくりの一環として、環境に優しいせっけんの導入を進める。漁場の環境保全を目的に全漁連が開発した天然油脂のせっけん「わかしお」の販売を第三セクターで始めた。今後、小中学校など公共施設や一般家庭での使用を推進する。海の水質を守るためには、沿岸部だけでなく川の上流域でも取り組みが必要で、北上川流域の町として良好な水資源の循環を後押しする。

紫波町

販売を開始したのは、「わかしお」せっけんの浴用(一個百二十六円)、洗濯用液体(千ミリリットル、六百八十三円)、台所用液体(600ミリリットル、四百十円)など五種類。第三セクター紫波フルーツパー

施設、家庭に導入推進

クがJR紫波中央駅が弱まり、汚染が進む隣の「紫あ波せ本舗」とされる。町は七月から役場庁での販売は、盛岡市の舎内でわかしおせっけんを使用。今後は町ごみ減量女性会議が広く同本舗では、販売開始セレモニがこのほど行われ、同パークの戸塚睦男総務部長が「顧客のニーズに答え、順次商品数を増やしていきたい」とあいさする千世帯とするのが目。

三セクが販売

つ。県漁連振興課の標だ。川崎光博係長がせっけんは県内の各漁協などに広がりつつあるが、内陸部ではまだ浸透していない。油を原料とする合成洗剤と違い、天然油脂で作られる。汚れを落とす界面活性剤は、河川に流れ出た時点で微生物によって分解され、川の上流とる。合成洗剤は川や海に流入すると、水質を浄化する微生物の活性を説明する。

家庭で流した水はどこへ？（中川終末処理場の見学）

日時：平成18年9月8日（金）

場所：盛岡市下水道部下水道施設管理事務所

生活問題研究会では長年にわたり、河川水の汚染状況を調査してきました。河川水に含まれる、合成界面活性剤の残留濃度を検出してきましたが、近年は非イオン界面活性剤、陰イオン界面活性剤共に基準値の0.02mg/l以下の0.01mg/lという結果が出てきています。盛岡市の下水道が普及率86.4%になってきているためと思われます。濃度が低くなっているとはいえ、合成洗剤を使用する限り、合成界面活性剤は残留していますし、汚水がどのように処理されているのか学習することにし、中川終末処理場を見学しました。

中川原終末処理場のあらし	
計画処理人口	45,000人
計画処理水量	24,600m ³ /日（最大）
処理方法	高速散水ろ床法
運転開始	昭和40年（1956年）4月

下水処理場は休むことなく汚水を処理しています。しかし、汚れがひどいと活性汚泥処理に影響を与えます。電気代、薬品代など莫大な費用がかかります。それは水道代の引き上げにつながります。

☆ 家庭でできる汚染源対策

- ・ 調理くずや食べ残しを流しに捨てない油污れなどはふき取ってから洗う
- ・ 風呂の残り湯や雨水の有効活用
- ・ 洗剤は使いすぎない
- ・ 使用済みの油は使い切る工夫をする
- ・ 洗濯は「一度着たら洗う」から「汚れたら洗う」

☆☆☆汚染源を絶つことが大切☆☆☆

研究会では 10 年ほど前からごみ問題の学習、調査を継続し、今年度は「ごみの有料化とごみ問題のアンケート調査」に取り組みました

ごみの有料化とごみ問題のアンケート調査

平成 18 年 3 月 1 日付け盛岡市広報にごみの減量などについての市民意識調査の結果が掲載されました。

岩手県生活問題研究会でも独自にごみの減量や有料化についてのアンケート調査をし、意見をまとめることになりました。そこで次の質問に○印でお答え下さい。

問 1 あなたはごみ処理の有料化についてどう思いますか

賛成

反対

問 2 あなたは、ごみの減量やリサイクルを図るため、日頃どのようなことを心がけていますか。次の中からいくつでもお選びください。

- 1 資源ごみは資源集団回収に出し、トレー、紙パックなどは店頭回収へ出す
- 2 詰め替えや繰り返し使用できる商品を選択して購入する
- 3 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋はもらわない
- 4 生ごみは水をよく切り、コンポストや電動生ごみ処理器を使用する
- 5 不用になった衣料品などは、リサイクルショップやフリーマーケットに出す

問 3 市政への要望や意見を 2 つお選び下さい

- 1 生ごみの循環システムを作る
- 2 民間へのごみ処理委託をする
- 3 農薬、劇薬、塗料など（有害廃棄物）の適正処理をする
- 4 ごみステーションの整備をする
- 5 古い布の回収をする
- 6 びん、缶を返すとお金が戻る制度に（デポジット制 ビール瓶がその代表例）

問 4 事業者への要望や意見を 2 つお選び下さい

- 1 簡易包装にする
- 2 容器包装はサイズを規格化しリユース（再利用）、リサイクルしやすくする
- 3 容器包装材はダイオキシンのでないようなものにする
- 4 容器について作ったメーカーが責任を持って回収する（拡大生産者責任）
- 5 リサイクルはエネルギー使用が多いので、リユースをする

問 5 その他ごみ問題に関してのご意見をお書き下さい

--

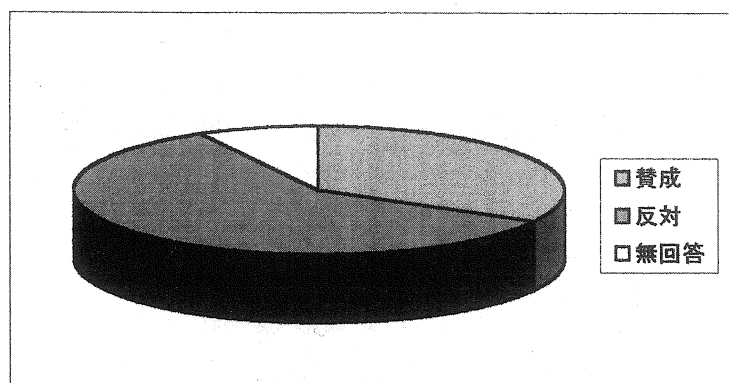
ありがとうございました 岩手県生活問題研究会

「ごみの有料化とごみ問題のアンケート」調査結果

岩手県生活問題研究会

問1. ごみ処理の有料化についてどう思いますか？

選択肢	割合(%)
賛成	33
反対	59
無回答	8
合計	100

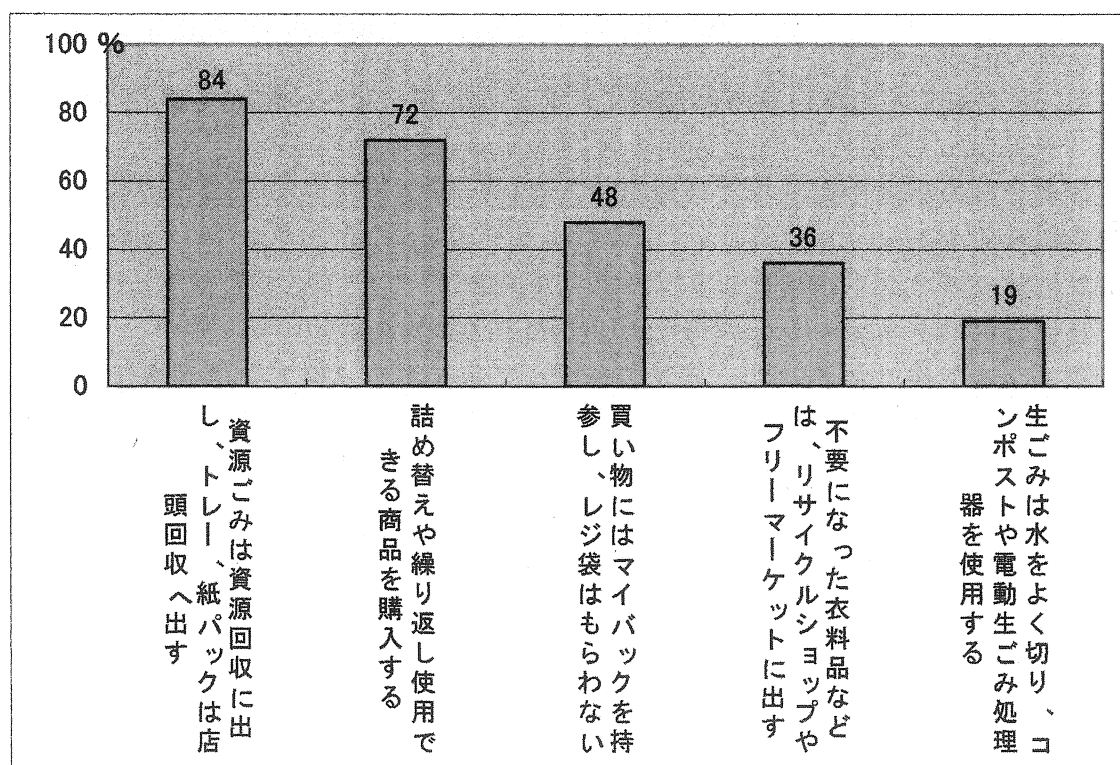


調査の概要

1. 調査名称
ごみの有料化とごみ問題のアンケート調査
2. 調査対象
生活問題研究会員が友人。知人に依頼
3. 調査方法
調査員に手渡しまたはFAXによる回答
4. 調査期間
2006年7月中旬～8月初旬
5. 有効回答(一部複数回答あり)
111人(96.5%)

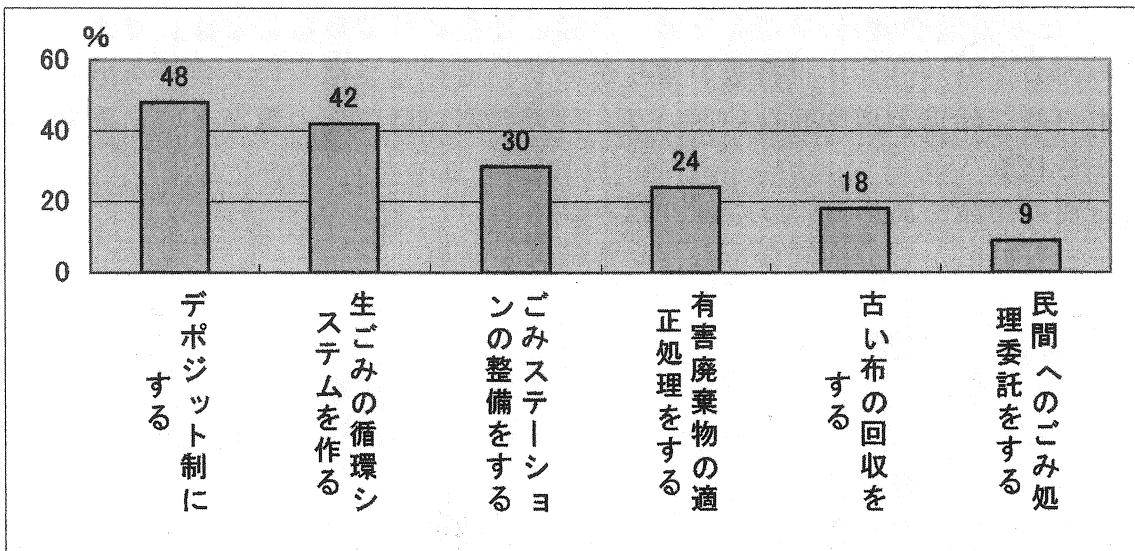
問2. ごみの減量やリサイクルを図るため日頃どのようなことを心がけていますか？(複数回答)

選択肢	割合(%)
資源ごみは資源回収に出し、トレー、紙パックは店頭回収へ出す	84
詰め替えや繰り返し使用できる商品を購入する	72
買い物にはマイバックを持参し、レジ袋はもらわない	48
不要になった衣料品などは、リサイクルショップやフリーマーケットに出す	36
生ごみは水をよく切り、コンポストや電動生ごみ処理器を使用する	19



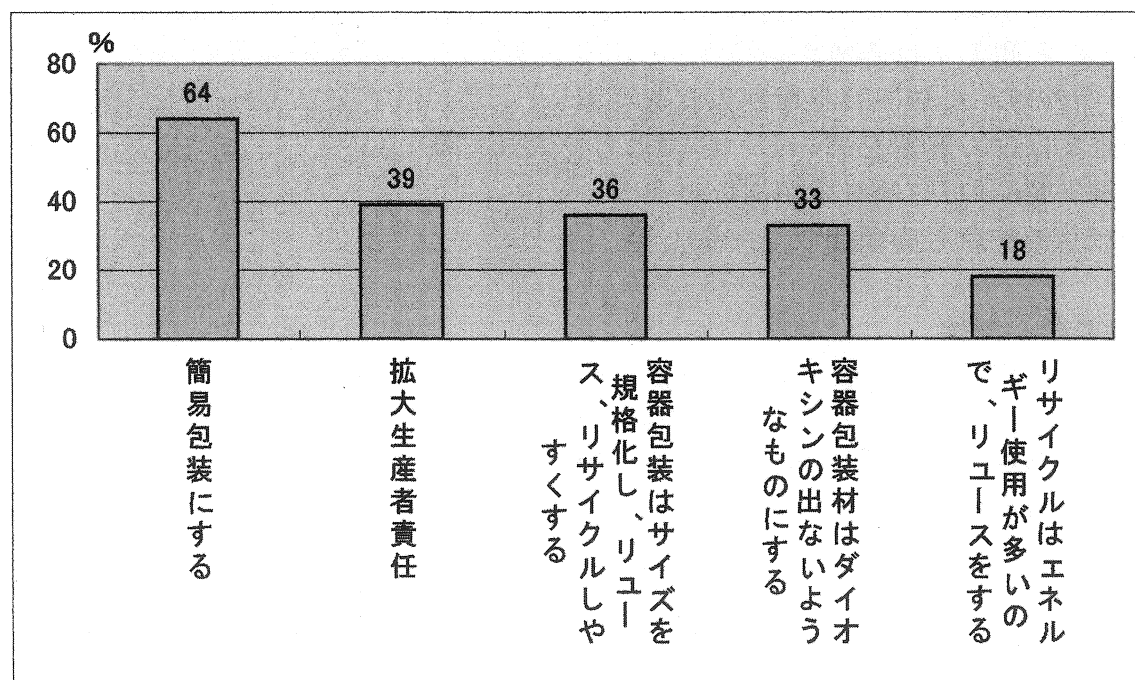
問3. 市政への要望や意見を二つお選びください。

選択肢	割合(%)
デポジット制にする ※瓶、缶を返すとお金が戻る制度	48
生ごみの循環システムを作る	42
ごみステーションの整備をする	30
有害廃棄物の適正処理をする ※農薬、劇薬、塗料など	24
古い布の回収をする	18
民間へのごみ処理委託をする	9



問4. 事業者への要望や意見を二つお選びください。

選択肢	割合(%)
簡易包装にする	64
拡大生産者責任 ※製造メーカーが責任を持って回収する	39
容器包装はサイズを規格化し、リユース、リサイクルしやすくする	36
容器包装材はダイオキシンの出ないようなものにする	33
リサイクルはエネルギー使用が多いので、リユースをする	18



問 5 「ごみ問題の意見や感想として」は下記のとおり

問 1 「ごみ処理有料化について」では

- * ごみ有料化に賛成だが、不法投棄が増えないか心配
- * ごみ有料化には反対・行政の責任で処理すべき

問 2 「ごみ減量やリサイクルを図るため、日頃こころがけていることは」では

- * 町内のごみステーションに世帯数の偏りがあり、増やして欲しいと要望を出す、市ではこれ以上増やせないという。付近の家ではごみの量が多いと悪臭に悩まされる
- * 分別の意識を高めるような取り組みが欲しい
- * 子どもの頃から分別意識をもたせる教育が必要

問 3 「市政への要望」では

- * デポジット制度を普及させて欲しい。ごみは減ると思う
- * ごみ分別をもっとこまかくしたり、生ごみを肥料にするなど、ごみを減らさないとごみ処理費用がかかる
- * 生ごみ循環システムを作る前に「バイオマス」による処理を考えて欲しい。そのメリットがあるなら積極的に導入してみては

問 4 「事業者への要望」では

- * 容器類は生分解性の材料を使用できないか
- * 容器包装はリサイクルしやすいものに（封筒のセロファン、弁当の容器など）
- * コーティングした容器でもリサイクルできるようにできないか（贈答用品など）
- * 大企業にはリサイクルすることを義務付けて欲しい
- * 庭木類は場所がある人は燃やしてもいいのではないかと、また回収してチップなどに利用してはどうか
- * ドイツのリユース、リデュースを取り入れるべき
- * 企業はびん容器を統一し、リユースに力を入れて欲しい
- * 電気製品のリサイクル料金が高いと思う
- * スチール缶や瓶も店頭回収して欲しい

「その他」では

- * 廃油を回収し車の燃料にするシステムづくりや廃油リサイクル石けんを
- * 余った農産物(りんごなど)はごみに出さず、自分の農地で処理すべき
- * 価格に惑わされず、必要なものだけ買う
- * 個人が土地とストックヤードを提供してくれたおかげで、地域のごみのマナーの向上につながっている

佐藤会長「地域環境保全功労者表彰」受賞

今年度は、生活問題研究会においてとてもよいことがありました。それは、佐藤会長が環境大臣表彰を受賞したことです。功績内容は、以下のとおりです。一緒に活動した私たちにとっても嬉しいことです。「継続は力」ということを身をもって感じさせられました。これからも、着実に足跡を残せるよう皆で力をあわせて活動を続けましょう。

地域環境保全功労者功績内容等

佐藤まゆみ	平成5年度から岩手県生活問題研究会（現会長）において、水環境と水質汚染との関連調査・研究、食用廃油で石鹸作り、啓発活動、ごみ減量と省エネルギーの関係調査に取り組み、環境保全の普及啓発に貢献している。 平成9年度から県の環境アドバイザー、平成13年度から今日まで地球温暖化防止活動推進員として、県内各地で講演を行うなど、地域の環境学習の推進に努めている。
-------	--

環境大臣表彰に
盛岡の佐藤さん

地域環境保全に特に功績のあった個人や団体に贈られる本年度の地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）に、盛岡市の佐藤まゆみさん（74）が選ばれた。表彰式は十二日、東京・グランドアーク半蔵門で行われる。

佐藤さんは一九九七年度から県の環境アドバイザー、二〇〇一年度から地球温暖化防止活動推進員として県内各地で講演するなど、地域の環境学習活動の推進に努めている。〇二年度には環境保全功労者として知事感謝状を受けている。（岩手日報）

佐藤まゆみさんの環境保全功労者表彰を祝う会



「水の日」行動への参加

日 時 8月1日
場 所 中三前

8月1日は「水の日」です。私たちは毎年この運動に参加しています。廃油利用の手作り石けんを配布しながら、水を汚さない工夫、水を大切に使いましょうなどと水環境について市民にPRしています。中三アーケード街は老若男女が通りかかり女性だけでなく、中・高生の生徒にも石けん使用を呼びかけると、関心を示す生徒もあります。やりがいのある「水の日」行動です。これからも水環境を守るために続けましょう。

「水の日」及び「水の週間」とは？

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年5月31日閣議了解により「水の日」を設けました。

「水の日」は毎年8月1日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとします。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとします。



第26回盛岡消費者まつり

日 時 平成18年10月13日～10月15日

10時～16時

会 場 プラザおでって

目 的

消費生活に関する知識や情報が得られるような場を提供し、消費者啓発の一環として開催し、市民の消費生活の安定と向上を資するため

テーマ

人と環境・未来にやさしい暮らしをめざして

消費者まつり反省会

11月30日 プラザおでって

3日間で見学者約6000人

見学者からの声や実行委員からの感想

- * 暮らしをめぐる身近な問題、展示等で気がつかないことを知ることができた
- * クイズを通して分からないことが多いということを発見した
- * 去年と同じ内容なので、できれば来年は違う展示がほしい
- * 環境などに関わる展示があってよかった。
- * 市民として消費者まつりは心豊かになります。来年も待っています
- * 春秋2回の開催をお願いします
- * 年々内容が良くなっているように思います。環境への関心も高まっています
- * もっと広報や駅、報道機関などでも開催のお知らせをしたほうがよいと思う
- * フリーマーケットの会場が分かりにくいし、値段が高いと思った
- * 季節の野菜や名物料理もあればよい
- * 若者の見学者がもっとあればよい

研究会としての感想

- * 開催日数は2日くらいがいいのでは。時期は9月後半ではどうか
- * 図表の展示などにあたっては誰でも見やすいように、字をもっと大きくしたり、イラストを入れるなどの工夫が必要だと思った
- * 当会で作ったリサイクル石けんは好評で、来場者から期待されている（固形石けん300個、プリン石けん50個無料配布）

「ふろしき」を使ってみませんか

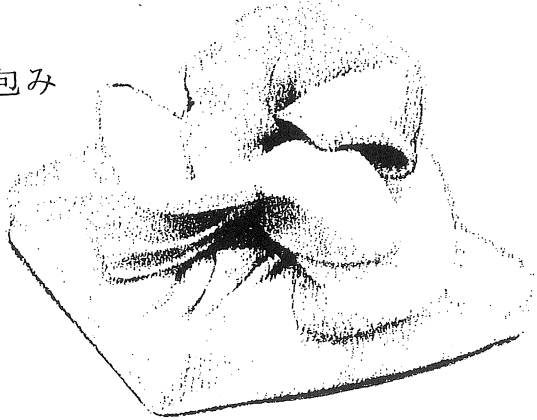
私たちは買い物の時、紙袋やレジ袋を使っています。しかしそれらはいずれごみとして捨てられることが多く、時に応じて包む、結ぶ、抱える、広げるなどいろいろな使い方ができる「ふろしき」を見直し、日常生活に生かすことがごみ減量のためになるのではと考え、盛岡消費者まつりに展示しました。

その中には、当会会長の佐藤まゆみさんが小池百合子環境大臣からいただいた「もったいないふろしき」も展示されました。

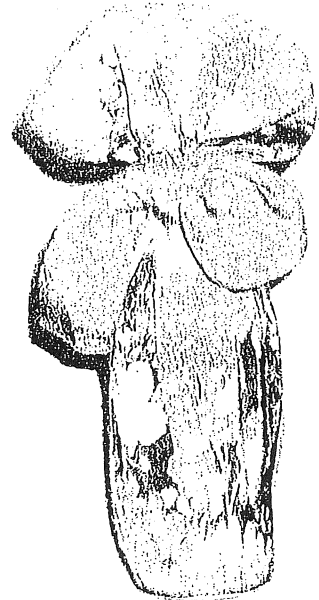
見学者は女性の方が多く、なつかしがったり、手にとってみたり、包み方を覚えたいと熱心に習った方もおり好評でした。

どこの家にもある「ふろしき」を見直し、ごみの減量につなげたいものです。

大輪包み



びん包み



ティッシュ



二つ結び



リュック



消費者まつり・風呂敷の使い方展示コーナー



岩手県消費者大会

日時：2006年10月31日〔火〕

会場：サンビル7階

テーマ 「格差のない暮らしやすい社会をめざそう！」

今政府は、いざなぎ景気を上回ったと盛んに宣伝していますが、私たちの生活にその実感はありません。小泉政権の「改革、改革」5年で、いろんな分野の格差、特に地方格差と庶民の生活破壊を残しました。それを受け継いだ安部政権も庶民の生活に視点をあてた政策とかけ離れている。国民の不安に応えるどころか一番に教育基本法を変え、国に都合のよい教育をすすめている。岩手県の生活実態は厳しく、将来がみえないまま不安がひろがっています。

午前：分科会

1	食料・食の安全	「もっと知りたい！食の安全・安心最新情報」
2	環 境	三陸の海が危ない～六ヶ所村核燃料再処理工場の問題を学ぼう！
3	医 療	「安心できる医療を求めて学習し、交流しあおう」
4	介 護	続出！介護保険制度の改定にともなう問題点～どんな介護のぞみますか？
5	消費者問題	自分や家族だけはだまされない！それって本当に大丈夫？
年金相談コーナー		盛岡社会保険事務所の方と中村保険労務士対応

第3分科会「医療問題」に参加して

「医療費の改悪の内容と対応」について医療生協の佐々木康夫さんより問題提起がなされました。

1. 診療報酬の改正によって、医療側の立場のみならず、医療を受ける国民が満足に医療を受けることが難しくなる図式が出来上がっている。
2. 医療費を抑制するために、①診療報酬の引き下げ、②患者の自己負担増、③在院数の短縮、④療養病床の削減など→在宅看護や介護へ
3. 高度医療には高額報酬
医師や看護師は大都会の大病院へ集中→地方は医師看護師不足
4. リハビリは180日で終了→治っていない人はどうする？
5. 中小の医療施設は、勤務職員の低賃金で支えられている。

<感想>

改正といいながら、中身は改悪としかいえず、患者、医療側共に苦しい立場に置かれている。病気になったら、近くの病院へ行って見てもらいたいというささやかな願いも、結局お金をたくさん持っていないとかなわない世の中に移行しつつあるような気がしました。私たちは、日ごろから体力をつけ、病気にならないようにしなければと、つくづく考えさせられました。

午後：全体会

分科会の報告のあと、平和パフォーマンスが行われました。構成力、演技ともすばらしくたいへんわかりやすいと、参加者に好評でした。9条や教育基本法について、参加者が改めて考えるきっかけになったと思います。

その後、「なぜ格差社会がすすんだのか？福祉社会への転換をめざして！」と題して、慶応義塾大学経済学部教授 金子勝先生の基調講演がありました。“現実をシビアに捉えてあたりまえの生活を取り戻す提案”“活気のある話し方で元気をもらいました”“これだけ悲観的シュミレーションを聞くと、底辺にいるのだから、工夫してがんばろうと言われても難しい”など感想が分かれたが、テレビなどで名前が知られている先生の講演への期待感が大きく過去2番目に多い参加者となりました。

その他

分科会のふりかえりの中で社会保険事務所や社会保険労務士の協力で設けた、年金相談コーナーへの相談者が少なく、来年はどうか？課題となりました。

第 20 回「農村の“いま”に黙ってられない東北集会」に参加

月 日 平成 18 年 6 月 2 日～3 日

場 所 ホテル花巻

参加者 佐藤 三田村 葛 杉山 田上 細野 松村

第 3 分科会に参加 限りある「水資源」をかたる（約 30 名参加）

講演：盛岡市における水資源確保・保全の取り組みについて

講師：盛岡市水道部次長 福田 健次 氏

パネルディスカッション

パネラー：盛岡市水道部次長 福田 健次 氏

：生活問題研究会代表 佐藤 まゆみ 氏

：小岩井農牧(株)環境緑化部部長 軍司 俊道 氏

感想

この分科会に参加しようと思ったのは、研究会活動で水環境に取り組んできており、興味を持ったからです。その中で、水道事業としての涵養林を作っているが、市民にも知られていないのでは、とか、平成 9 年 3 月から、盛岡市水道水源保全基本計画を策定し、土地を取得し森林を整備しているとのことであったが、私はそのようなことを知りませんでした。これまで植栽、下草刈り、針葉樹は除間伐、広葉樹はツル切りなどやってきている。盛岡市は水道水源は現在は良好であるし、検査もしているが、全国的には河川の汚濁、汚染が進むとともに汚濁物質も多様化してきているとのことでした。

盛岡市でも保護条例も制定されてはいるが、他市町村から流れてくる水を取水するので、一つの行政区だけの規制では守れないことが多い。医療用のくすり、家庭雑排水、農薬汚染など、条例では規制しきれない汚染のほうが多く、事業者との取り決めも作っているとのことでしたが、私たちの毎日の生活で、気をつけることが大切だと思いました。

水質検査のお話の中で、新しい化学薬品が増えてくると、検査項目が倍増し、それに対応するためには一台数千万円もする機械が必要となり、一部を外部委託するという方向にいつている。また厚生労働省水質基準監視項目に入れていない農薬などもあり、いつ、どこでどんなふうに使われているのか、情報が伝わっていないという状況があることを聞き、私たちが前に学習した発がん性物質や内分泌かく乱物質がますます増えてくるのではという危機感を持ちました。

これまでの研究会の「みず」に関する活動は、水源保全、環境保全、身体への影響の点からも継続して学習し、啓発していくことが重要だと思いました。

報告 松村 ウメ子

出前消費者講座の開催（盛岡市消費生活センター主催）

（リサイクル石けん作りの講師として参加）

一回目 月 日 平成 18 年 4 月 14 日
時 間 10 時～12 時
会 場 湯沢都南老人福祉センター
参加者 老人クラブ会員 18 人
研究会より 松村 田上

二回目 月 日 平成 18 年 7 月 13 日
時 間 10 時～12 時
会 場 北厨川老人福祉センター
参加者 厨川五丁目緑婦人部 会員 15 人
研究会より 佐藤 杉山

盛岡市消費生活センターの佐藤主査より 1 時間の講演

悪質商法 7 カ条対策マニュアルの話

うますぎる話にはいつも落とし穴がある。利用した覚えのない請求、裁判所からだというハガキ請求などの被害も増えている。利用していないければ連絡や支払いをしないことなど

参加者のなかにも偽ハガキが届いている人が 5 人もいて驚きました。

そのあと 1 時間は研究会から森林、水環境、合成洗剤や石けんについて、環境問題の話、合成洗剤のビデオ鑑賞、リサイクル石けん作りの作業をしました。

使ったことがある人は数人おりましたが、作るのは初めてという人が多く、交代しながらかき混ぜ、賑やかに終わりました。戦争中に作ったことがあると言う人もおりました。

環境の話も知らないことばかりだったので、とてもよかった、とか、秋の文化祭では石けん作りをやり、皆に使ってもらいたいと話しておりました。

その後、婦人部の新年会のビンゴ大会に石けんも賞品にだしたところ、一番人気がありました。固型石けんより、どちらかといえばプリン石けんが好まれているようでした。

廃油を捨てないで、環境にもいいリサイクル石けんを今年も作り、皆さんに広めていきたいとのことでした。

報告 杉山 温子

容器包装リサイクルフォーラムに参加して

日 時 平成 18 年 8 月 29 日（火）～30 日（水）
場 所 横浜市社会福祉センター（29 日）
鶴見資源化センター(30 日視察)
主 催 3 R 推進団体連絡会
参加者 約 200 名

29 日午前の部

・基調講演

郡 嶋 孝 氏 （同志社大学経済学部教授）

内 容 容器包装リサイクル法改正をめぐる動き、今後の自治体・市民・事業者の取り組みと連携はどうあればいいか

・講演 経済産業省の横田 真氏

内 容 改正容器包装リサイクル法について

・報告 3 R 推進団体連絡会及び加盟団体による容器包装 3 R 推進活動

午後の部 先進自治体の取り組み報告

1 「横浜 G30 の取り組みについて」横浜市資源循環局の報告

ごみ排出量の平成 13 年度比 30%削減実現をめざし、プラ容器包装等をターゲットに、市民参加と民間活力の活用で 3 R に取り組んでいる様子

2 「ステーションでの住民参加を基本にした高度な分別収集」

沼津市クリーンセンターの報告

分別収集システム改善のヒントについて

3 「市民との協働によるごみ改革の展開」

日野市ごみゼロ推進課の報告

大幅なごみ減量に成功した事例報告

○分科会 第 1 ～第 4 まで（第 4 に参加）

話題「容器包装 3 R と市民参加」

容器包装 3 R にむけて自治体、市民、事業者がいかにパートナーシップを組むか話された

話題提供者 横浜市磯子区 G30 応援隊

北本市（埼玉県）ごみ減量等資源会議

中部リサイクル運動市民の会

牛乳パックの再利用を考える連絡会

3 R 推進団体連絡会

・各分科会からの報告、意見交換で終了

一日目の感想

基調講演は経済学の教授のお話で、これまで廃棄物やごみ問題は政府や行政の上の問題であったが、政府は規制をかけるだけでなく、事業者や消費者と協働し主体的にやる気を起こさせることが必要。企業は環境問題をぬきには考えられない時代、消費者は社会的問題を個人の問題としてとらえ、自分の生き方として考え行動することが大切で、個人が変れば社会も変えることができるというような内容でした。

しかし、この先生のお話は横文字を使い、聞いたことはありましたが、意味がわからない単語が多く、例えば、インボルブメント、コミットメント、ステークホルダー、コラボレーション、ソーシャルキャピタル、CSR など、帰ってから調べてみて理解できた内容もありました。

私が関心を持った第一分科会の内容は、先進自治体の横浜、沼津市、日野市がどのようにしてごみ減量に成功したかということで、研究会の活動や盛岡市でも何か参考になるのではと考えたからです。

ごみ問題については、どこの自治体でも同じようなやりかたをしています。が、横浜の例では、環境行動都市を基本理念として焼却からリサイクルの分別収集の拡大をしたことでした。ごみ収集の人たちが自ら土、日に一万回以上も説明に歩いたり、人が多く歩く駅でキャンペーンをしたり、8時半にごみ集積場所に行きお願いや質問をしたことで、G30 プランの目標である「30%削減」を5年前倒しで達成したことでした。このことにより、二つの焼却施設を廃止することで1,100 億円の節約、環境負荷低減効果がでたということでした。ただし、そのためのイベント、分別品目がふえたことにより人と車の経費がかかったということになりました。

沼津の例では、ごみ減量に一番の即効性は、不燃ごみから有価物を抜き出すことがわかり、清掃行政を市にまかせるのではなく、市民自信が社会的責任を自覚し一体となって協力したことでした。

日野市の場合は、多摩地区 30 市町村のなかで、ごみ量が多くリサイクルが進まないワーストワンを大きく市民にアピールし、環境基本計画を市民と協働で策定し、ごみ担当者だけでなく、市職員全員がボランティアでごみ改革に取り組んだこと、優良指定袋制をとっているが、リバウンドしていないことなどが効果をあげたということでした。

また、紙おむつ専用収集袋を無料配布、剪定枝のリサイクル、古布類を集めているところが先進的取り組みだと思いました。

経済産業省の担当者のお話は〈改正容リ法の内容・ポイントについて〉の説明でした。

しかしこの法律は、事業者にとってはメリットがあっても、自治体や消費者にとっては問題があると思いました。なぜなら、「容リ法」はリデュース、リユースを優先するのではなく、リサイクルを前提としており、自治体は7割がごみ処理費にあてられ、リサイクル費用は益々増える。今若者

はペットボトルが当たり前になり、「リサイクルすればいいじゃん」という風潮が強くなる。私たちは、リターナブル容器を増やし、事業者の義務として再商品化、市町村の分別費用も負担する拡大生産者責任を徹底し、大量リサイクルでない方法を望んでいます。



横浜市社会福祉センターで開催



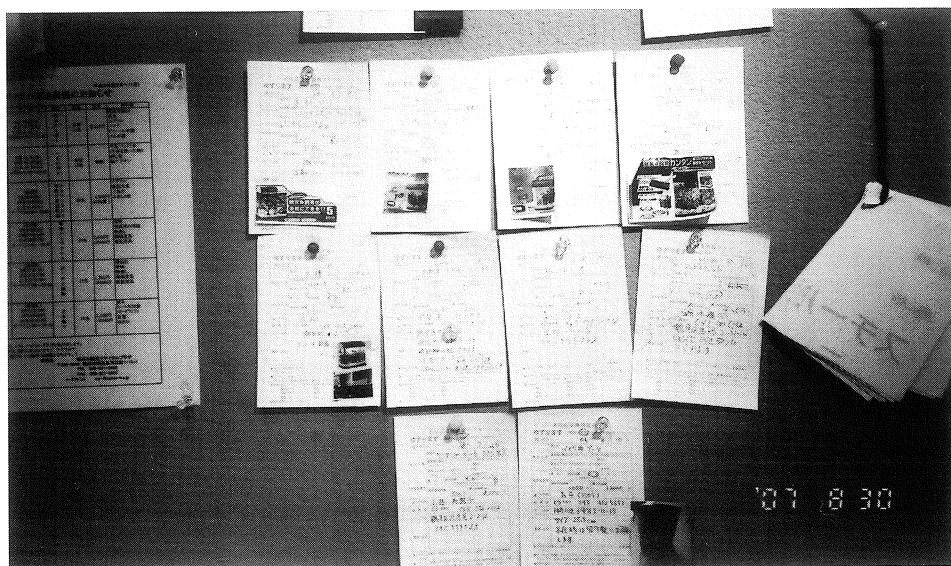
街のあちこちに「ヨコハマはG30」の横断幕

30日 二日目鶴見資源化センター（缶、びん、ペット資源化施設）とリサイクルプラザ（啓発、活動施設）見学

鶴見資源化センターでは缶、びん、ペットの処理をしている様子を見学し、リサイクルプラザが併設され、粗大ごみの中から再利用できる「家具類」を修理し、展示し、抽選で販売していること、「ゆずります、ゆずってください」の情報コーナーがあること、衣類のリフォーム、さき織り、料理、リサイクルせっけん作りの機械を備え粉石けんを作っていること、紙すきなどの各種教室を開催し、一箇所ですべての体験ができるという場所があり、市民へのごみ問題への啓発ができると感じました。



回収再生し販売される家具類



「ゆずります、ゆずってください」コーナー



廃油からの石けん作り体験コーナー

粉石けん作りの機械



出来上がった粉石けんは市民に安く販売

* 容器メーカーの人とバスのなかでの会話から

Q ドイツのような国ではペットやビンがリユースなのに、なぜ日本ではしないのか？

A ドイツはリユースする風土ができている国なので、それが当たり前になっており、国民性の違いがあるのでは。日本ではペットなどにキズがあったりすると、クレームがくる

Q 外国の水が売られているが、ペットが日本製より柔らかいが、なぜか？

A ペット容器が薄いと穴をあけられる恐れがある、又弱いとダンボールの強度を強くしないといけないので、トータルに考えて作っている。ペットの水は腐りにくいですが、お茶やジュースのような場合、針でいたずらされたりすると、腐ってしまう。そこで強度が必要。

Q 缶ジュースなど模様入り、ぴかぴかした光物の商品が多いが、あれは飲料メーカーから依頼で作るのか、また容器の値段はその分高くないのか。ペットに貼ってあるシールだけのほうが安いのでは

A 模様のデザインは容器メーカーで考え、飲料メーカーへのサービスとなり、値段は変わらないとのこと。かえってペットのシールのほうが値段が高い。コンビニのようなどころはぴかぴかや模様の入っている見栄えのいい商品をおきたがる」との裏話でした。

今回、このようなフォーラムに初めて参加できたことがよい刺激となりました。今後の私たちの活動に生かせればと思っています。

ヨコハマ「G30」とは

「G」 ごみをローマ字で Gomi の「G」

〃 英語で Garbage の「G」

〃 Genryou していくの「G」

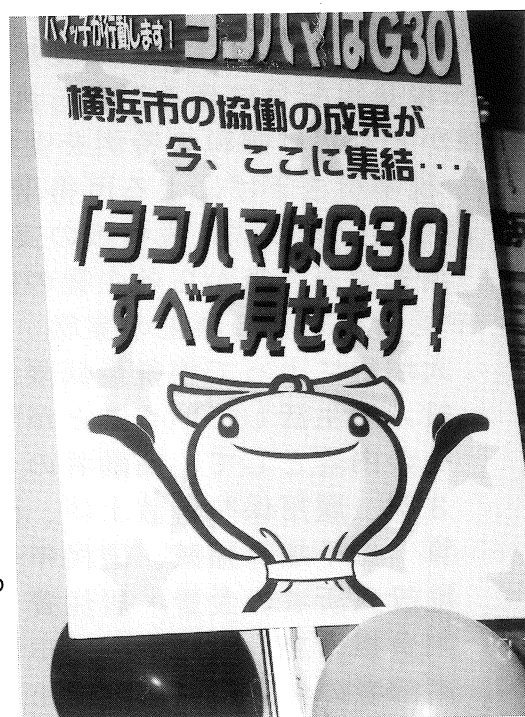
良質 (Good) な地球環境

(Global Enviroment) を

次世代に引き継いでいくの「G」

「30」 平成 22 年度におけるごみ排出量の削減目標である 30% の 30

「G30」「ゴミゼロ」の意味も込めている



報告 松村ウメ子

第45回全国消費者大会に参加して

月 日 2006年11月29日

場 所 オリンピック記念青少年センター

テーマ「消費者パワーで未来を創ろう
安全で安心してらせる平和な社会を」

分科会

- | | | |
|---|--------|-------------------|
| 1 | 消費者政策 | 発揮しよう消費者の底力 |
| 2 | 食 | 食に関する情報を見分けよう |
| 3 | 税・社会保障 | 税・社会保障制度は誰のために？ |
| 4 | 司法制度 | 普段の自分で裁判員 |
| 5 | 環境 | 地球温暖化はまったなし |
| 6 | くらしと憲法 | 実感していますか？くらしの中の憲法 |

全体会

テーマ「みんなで考えよう！くらしの中の安全・安心」

3 税・社会保障の分科会に参加

参加者 36団体 82名

① 税金や社会保障負担の制度は誰のために「抜本改革」されてきたか ～税負担分配に見る歪められた所得再配分構造～

* 誰がどれだけ課税の特例を受け、実際の納税額はどうなっているか？

税率引き下げによる所得階級別減税額は、高額所得者ほど低い

* 高収益企業の法人税負担の実態

消費税導入後から各企業の内部留保が増えている

* 中低所得階層の課税の実態

増税によって課税最低限が大幅に引き下げられることにより、一般人は生活していくことが苦しくなる

その内容として、高齢者の一割負担、サラリーマンの健保本人負担3割、雇用保険料値上げ、配偶者特別控除廃止、生活保護の老齢加算・母子加算縮減、国民年金・厚生年金値上げ、高齢者控除廃止、施設入所者の食費・居住費全額自己負担化、福祉サービス利用料一割負担、施設・グループホーム利用者の食費・居住費全額負担化、高齢者の非課税限度額廃止など

* 赤字財政は消費税の増税以外に解消できないのか

特別会計は使用されずに38兆円位保留してある。国民は特別会計の使い道をしっかりと学ぶべきである

② 医療制度の財源と制度構造改革

日本の医療制度

政管健保	27.4%	組合健保	23.4%
共済	7.5%	国民健保	38.4%
国保（国保組）	3.1%	その他	0.2%

公的保険制度、税と保険料を導入

国民皆保険、現物支給、フリーアクセスが基本となっている

* 社会保障・医療の財源構成

社会保障給付総額では年金が大きい、税の投入では医療が大きい
医療の公費負担では国民健康保険と老人健康保険の割合が高い
国民医療費の国庫負担が減少し、家計負担と地方負担が増えている
企業にとっても事業主負担の削減が課題になっている

* 2006年の医療制度構造改革

医療費の自己負担増・・・高齢者と団塊世代がねらわれている
高齢者の窓口負担増・療養病床の削減（平均在院日数の短縮）
新高齢者医療制度の創設・生活習慣病対策の強化
混合診療の拡大

③ 若者の参加と自立をサポートする

* 特定非営利活動法人「育てあげ」ネット埼玉県の発表から

ジョブトレ・・・若年者就労基礎訓練プログラムの作成
相談・カウンセリング・・・不登校、引きこもりを中心に個別相談
コンサルティング・・・若年者就労支援システムの企画、運営、
厚生労働省の委員などのコンサルティング業務

ニート、フリーターでも生活していけるような政策がほしい
支援のために税金が投入されているといわれているが、税収が減少
すると打ち切られるのではないかと不安がある

④ 高齢者世帯の実態調査にとりくんで

* 東京西部保健生活協同組合 吉岡 尚志氏の発表から

保険料の増大で受診できず「がまん」その結果、重症になったとい
うことが多く報告されている
組合員の中から孤独死を出してしまい、もういちど職員教育、通信
教育の受講や仲間づくり、班づくりなどから高齢者世帯の実態調査
に取り組む
高齢者の訪問調査の結果、実態の把握、協同連帯の再生が求められ
ていることに気づいた

⑤ 2006 年全国業者婦人の実態調査から税・社会保障を見る

* 全国商工団体連合会 婦人部協議会の発表から

1 万 8000 人の調査のうち 1 万 7135 人分を分析した結果

格差の広がり、改悪消費税法で営業も暮らしも困難、貸し渋り、選別融資の所得の二極化が広がっている

営業収入のみで生活できず、貯金取り崩し、年金、他家族の援助、借金、アルバイト、生保の解約などで生計をたてている

◎食の分科会で「アッと驚く話」はあまりにも非常識と思われる事柄が毎日の生活の中で行われていることに驚きを感じました。

「アッと驚く は・な・し」

！キャットフードを夫の酒の肴としているが、最近製法が変わったのか

カブト虫用黒蜜ゼリーをお年寄りに食べさせたら好きになったが、食べさせても大丈夫か

！ペットフードを子どものおやつにしている。若者はスナック感覚か？

！食品の安全性に気を配っている主婦が「有機農産物と表示されたものは絶対に買わない」なぜならば、新しい言葉は不安

！「なす」の茹で汁が青くなった、人口着色料を使用しているのでは？

！ダイエット食品を食べ過ぎて太った。代金を返してもらいたい

(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会の方の話から

大会に参加して

税の不公平感、介護の問題、若者の生活の保証、食の安心安全、不安危険などを話し合い、一步でも前進させるにはどうしたら良いか？

持ち帰った問題を、各々の団体ではどのように取り組み、進めているのかを知りたいと思いました。

昨年までは2日間の日程でしたが、今年から1日だけになったので、あわただしい全国大会でした。

報告 葛 和子

平成18年度活動報告(2006年)

4月

- 10日(月)まとめ検討 共済会会議室
- 11日(火)医療改革でどうなる暮らし・相野谷安孝氏 水産会館5階
- 12日(水)例会
- 22日(土)許すな、憲法改悪、9条を守ること・高田健氏
- 26日(水)消団連総会 県民生活センター
- 28日(金)イラクで何が起きているのか?・高遠菜穂子氏

5月

- 10日(水)例会
- 25日(木)みどりのフェスティバル準備
- 28日(日)みどりのフェスティバル 中津川原
- 30日(火)消団連幹事会 県民生活センター

6月

- 2日～3日「農村のいまに黙ってられない東北集会」 ホテル花巻
- 14日(水)例会
- 27日(火)消団連幹事会、介護制度学習会 県民生活センター

7月

- 5日(水)ゴミ問題アンケート検討 共済会会議室
- 6日(木)学習会「合成洗剤と石鹼」 講師・全水道盛岡水道労働組合 阿部哲氏
- 9日(日)めざそう安心の暮らし・医療・介護 水産会館
- 12日(水)例会
- 13日(木)盛岡市出前講座 厨川婦人部の方々へ廃油石鹼の指導
北厨川老人福祉センター
- 20日(木)まちづくりシンポジウム 水産会館
- 25日(火)消団連幹事会 県民生活センター
- 26日(水)水の日石鹼準備
- 27日(木)洗剤について 県民生活センター
消費者まつり打ち合わせ おでって
- 31日(月)河川水めぐり

8月

- 1日(火)水の日行動
- 9日(水)例会
- 24日(木)佐藤まゆみさんを祝う会 サンセール
- 25日(金)アンケート集計作業
- 29日(火)消団連幹事会 県民生活センター

29日～31日 全国容器包装リサイクルのありかた検討会 横浜市
9月

8日(金)盛岡市下水道事業所見学研修

13日(水)例会

盛岡消費者まつり実行委員会 おでって

21日(木)「報道されない真実」週刊金曜日編集長、北村肇氏 おでって

26日(火)消団連幹事会 県民生活センター

27日(水)「本当に大丈夫?アメリカ産牛肉輸入再開」金子清俊氏 教育会館

30日(土)「水環境と洗剤について」岩手県立大 山田教授 アイーナ5階

10月

4日(水)盛岡消費者まつり水関係検討 共済会

5日(木)盛岡消費者まつり、ふろしきの包み方演習 共済会

10日(火)例会

12日(木)盛岡消費者まつり搬入

13日～15日盛岡消費者まつり おでって

18日(水)消費者大会実行委員会 サンビル7階

20日(金)公取委員会消費者団体交流会 県民生活センター

31日(火)岩手県消費者大会 サンビル

11月

8日(水)例会

14日(火)消費者大会実行委員会 県民生活センター

29日(水)第11回産直運動推進大会 県民会館中ホール

全国消費者大会 東京

30日(木)盛岡消費者まつり反省会 おでって

12月

13日(水)例会

20日(水)消団連幹事会 県民生活センター

消費者団体訴訟制度説明会 県民生活センター

1月

10日(水)例会

15日(月)ごみ減量フォーラム 勤労福祉会館

16日(火)輸入食品の監視業務について 講師、厚生労働省仙台検疫所職員
盛岡市中央公民館

19日(金)ごみ減量フォーラム 勤労福祉会館

20日(土)森林環境フォーラム

23日(火)消団連幹事会 県民生活センター

24日(水)食育フォーラム おでって

2月

6日(火)コメネット学習会「命と食と農をつなぐ」 山崎万理氏 アイーナ

電気商業組合消費者懇談会 県民生活センター

8日(木)省エネ家電製品普及促進セミナー アイーナ

14日(水)例会

20日(火)市消費者懇談会 悪質商法撲滅 おでって

24日(土)学校給食民営化問題 中央公民館

3月

1日(木)地産地消のとりくみ「雑穀と岩手の食事」下田たみ子氏 県民生活センター

3日(土)「3・3世界の平和を願う市民のつどい in 岩手」森永卓郎氏 サンビル

8日(木)遺伝子組み換え技術とは何か? 田部井豊氏ほか マリオス18階

14日(水)例会

16日(金)機関紙の編集学習会 おでって

27日(火)消団連幹事会 県民生活センター

各種モニター・役員等

岩手県環境アドバイザー 佐藤 まゆみ

きれいな水といのちを守る連絡会会長 広野 カツ子

廃油せっけん作り

佐藤 26, 40

杉山 23, 10

松村 42, 90

田上 19, 80



会員

・佐藤 まゆみ

・長野 慶子

・広野 カツ子

・吉田 伊保

・熊谷 佳枝

・下上 マツ子

・松村 ウメ子

・吉田 静子

・杉山 温子

・三田村 和子

・田上 みね子

・葛 和子

・千葉 より子

・細野 孝子